

第 8 回（仮称）富里市協働のまちづくり条例検討委員会 会議録

日 時	平成 2 1 年 6 月 2 3 日（火） 1 3 : 3 0 ~ 1 6 : 1 0
場 所	富里市役所本庁舎 3 階第 3 会議室
出席委員	久野直衛委員長，高澤忠彦副委員長，荒野峰之委員， 二上正栄委員，斉藤栄子委員，大木寿美子委員， 前川恵右委員，伊藤友子委員，草野孝江委員， 渡辺信子委員，石川政江委員，伊井かつ子委員， 森田修仁委員，小澤和子委員 (欠席 1 名：佐藤征人委員)
アドバイザー	千葉大学法経学部准教授 関谷 昇氏
事務局	総務部企画課長，企画課企画調整室長， 企画課企画調整室員（ 2 名）
傍聴者	1 名

〔 会議次第 〕

- 1 . 開会
- 2 . 委員長あいさつ
- 3 . 議題
 - (1) 方策提案シートについて
 - (2) 富里市協働のまちづくり条例策定に向けて（共通認識事項）
 - (3) 地域フォーラムについて
- 4 . その他
- 5 . 閉 会

〔 会議概要 〕

	<p>(1) 方策提案シートについて</p>
久野委員長	<p>各委員より個々の提案について発表</p> <p>具体的な話に移れそうなキーワードや方策を提案していただきました。事務局でさらに深く話し合っていくための資料をまとめているようですので、説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料 1 ・ 2 により説明</p>
久野委員長	<p>共通認識の「環境づくり」、「人づくり」、「仕組みづくり」を新たに 5 つに組み直し、議論しやすくしていただいたようです。関谷先生からも解説していただければと思います。</p>
アドバイザー	<p>これまで議論してきたことと、これから条例を踏まえた議論をしていく中で、どう整理し意見を出していいのかわからないとの意見が出ていましたので、今までの「環境づくり」、「人づくり」、「仕組みづくり」も重要ですが、事務局に ~ を提案させていただきました。それに即した形でこれまでの議論をある程度まとめなおしたのが、資料 1 です。</p> <p>は、市民が地域活動に参加できる情報がない、まちづくりのイメージがわからない、わからないなど、この委員会でも出ていた議論です。市民の立場に立ったときに、どういう環境があったら協働のまちづくりに参加しやすくなるのかという視点です。</p> <p>は、みなさんのご発言もありましたが、市民活動の広がる環境がまだまだ乏しい部分があります。団体と団体をつなぐ部分が、まだまだ弱いから広がらず、うまく展開していかないという「相互のつながり」の部分に注目したところです。</p> <p>は、この委員会ではあまり出ていませんが、市民が自発的</p>

に議論できる環境です。先ほど A 委員が「意見を言いたいけど、仕事があって言える環境にない」とおっしゃっていました。言える環境を作って、意見を各方面に反映していけるような制度や環境が整わないと斬新なアイデアは出てこないし、若者を巻き込んだような動きにもつながっていかないので、市民側が発する環境をどうやって考えるかということです。

は、行政との関わりで行政の問題と捉えてもいいと思います。先ほど B 委員が、「窓口を一本化してほしい」とおっしゃっていました。行政からみれば一生懸命仕事をされているけど、市民からすると内部でどのように動いているのかよくわからない、何か言ってもたらいまわしにされる、情報も見えてこないからよくわからないという意見がかなりあります。行政では、いろいろな事業が行われていますが、どういう手続きで進んでいるのか、どういう形で私たちの生活に活かされているのか見えてきません。そのあたりの情報を共有することも含め、行政の体制をどうするのかと部分です。

は、市民と行政が協力しながらいろいろやっていくべきだというご意見も出ていましたが、この両者の関係をどのようにしていくのかという視点です。～ までを踏まえるとこれまでの議論も整理できますし、条例を考えていくにあたっての接続もしていけると思います。

あと、みなさんからのご報告を伺っていて、もう少し議論したほうが良いと思ったことがありましたので、申し上げさせていただきます。

1 つは、自治会の問題です。今、自治会は、ひとつの岐路に立たされていると思います。行政とのパイプが非常に強く、行政から市民に対して働きかけをして、その受け皿として、自治会がその役割を担ってきたという部分があると思います。ただ自治会は定義上、市民の自主組織で、自発的な団体です。行政が管理、コントロールすべきではなく、あくまでも市民が、自分たちで考える場なんです。そういったときに、自治会の役割としては、自発的にいろいろなことをして、ある程度の範囲の

地域住民の意向をすくい上げ、場合によっては、行政に伝えていくと地域代表という意味合いを持っています。行政がいろいろやっていく上での受け皿という部分と地域の代表組織としてのあり方が、混在しているというのが今の状況です。混在しているから、自治会が今後どのように担っていけばいいのかという部分でいろいろな混乱が出てきています。こういうあり方がいいという考え方もあれば、もっと工夫したやり方もあるという考え方もあります。例えば、地域住民の代表という意味合いがもっと高まってくると、私たちの地域だから、もっとこの問題もみんなで考えようよという雰囲気が出てくると思います。でも、今のままだと言われたものをこなしていく部分にウエイトがおかれているので、なかなかモチベーションもあがってこないし、みんなで考えてやっていこうよという雰囲気もなかなか出てきません。その辺を今後、自治会のあり方をどのように考えていくのかということがあると思います。

もう一つ、自治会でいわれるのが、地域のことをかなり包括的にカバーしていますが、自治会が包括的にカバーしなくてはいけないのかどうか。担い手が少ない中で、自治会は全部のことをやっていかななくてはいけないのか、役割分担をもっと明確にして、この部分は自治会よりもNPOやボランティアなどと連携して進めたほうが物事もスムーズに進むのではないかと、担い手ももっと出てくるのではないかと問題があると思います。ですから、自治会が包括的な組織でなければいけないのかどうかもみなさんに思うところはあると思いますので、その辺も議論されるといいのかなと思います。

また、団体とのつながりが弱いということも出ていたと思います。この団体のつながりをどう考えていくのか。一つは自治会のあり方をどのように考えていくのかということもありますし、市民団体、NPO団体、ボランティアグループやそれ以外の地域組織、先ほども商工会という話も出ていましたが、そういう団体が、今、横につながっていません。なぜつながっていないのかはいろいろな原因があると思います。例えば、それ

ぞれが内にこもってしまうというのもあると思います。いい意味でも悪い意味でもこもってしまい、壁ができています。ここを是非考えていただきたいです。いろいろな原因があると思います。いいことやっているけど、なかなか入っていけない。そこにできている壁、もっと情報があれば入っているかもしれないし、その活動をやられている方が、もっといろいろな入り口を用意してくれたら、こういう入り口だったら入りづらいけど、別の入り口があると入れかもしれません。いいことをやっているけど、なかなか入っていけない雰囲気はどう考えていけばいいのかも少し論点としてあげさせていただきたいと思います。

先ほども市全体で何かやっていけるような制度や仕組みがあるといいのではないのかというご意見もありましたが、こういう議論をしていくときに出てくるのが、いろいろなことを考えている人や活動をされている団体があるけど、それがなかなかつながってこないから動きとしてつながっていかない。そういつたときにいろいろな団体をつなぐ中間的な組織があったほうがいいのかどうか議論されます。いろいろな団体をつなぐ媒介団体として例えば、「市民活動サポートセンター」のようなものを作っているところもあれば、小学校区単位で、自治会関係者、NPO関係者、学校関係者、商工会関係者など、いろいろな人が入って、その地域のことを考える「地域まちづくり協議会」のようなものを作っているところもあります。いろんな人が参加できるような組織や場がないから難しいという議論もあります。ですから、そういうものを作ったほうがいいのかどうか、あるいは、従来の組織でいいというご意見もあると思います。つなぐ場、組織、機会があったほうがいいのかどうか、今の富里市のおかれた状況の中で、そういうものが新たにあったほうがいいのか、また作れるのかどうか、その辺も検討してみると相互のつながりがうまくいっていないということをより深めることになるとと思いますので、その辺を指摘させていただきたいと思います。

<p>久野委員長</p>	<p>より具体的な方策のアイデアを出していただくためにお手元の資料2と、関谷先生からアドバイスを頂戴しましたが、これを参考にさせていただき、活発な議論をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">休憩（14：40～15：45）</p> <p>グループワーク</p> <p>グループワークの発表【別表グループワークシート参照】</p> <p>〔第1班発表概要〕</p> <p>テーマ：自治会の活性化</p> <p>根本原因：自治会未加入者が増えてきている。</p> <p>必要とされるもの：役割の分担や見直し</p> <p>方策：リーダーになるため講習会の開催</p> <p style="padding-left: 40px;">地域住民が交流できるようなまつり（きっかけ）</p> <p style="padding-left: 40px;">小さなサークル同士が交流できる場（つながり）</p> <p>〔第2班発表概要〕</p> <p>テーマ：まちづくり（資料2 について）</p> <p style="padding-left: 40px;">定年でリタイアした人々の地域デビュー</p> <p>方策：地域に出るきっかけづくり</p> <p style="padding-left: 40px;">（地域デビュー講座，リーダー講習会の開催等）</p> <p>〔第3班発表概要〕</p> <p>テーマ：まちづくり</p> <p>方策：現実を知る（情報公開）</p> <p style="padding-left: 40px;">意識啓発</p> <p style="padding-left: 40px;">市民が中心となった組織を作る</p>
<p>久野委員長</p>	<p>3つの班でテーマはいろいろですが、共通したキーワードがあると思います。「楽しく」・「自発的」・「主体的」でないと、</p>

<p>アドバイザー</p>	<p>活性化はしないのではないかと。そのために何が必要なのかというイメージが共通項目として出てきていると思います。</p> <p>1つめの班は、自治会の話ですが、未加入者の問題もありますし、今、自治会の役割が終わったと言う人もいます。それでも地域を包括しているし、その役割もあります。特にきずなやつなかりは、不可欠だけど、そういうものが緩んでしまっている中で、どういう仕掛けができるのかが、ポイントだと思いますが、リーダーを養成していくという動きは、かなり活発になってきています。最近では、自治会という地縁組織と例えばテーマ別の市民団体との交流の仕方を勉強する場が作られています。地域によっては、性質も由来も違うからどうしても壁を作りがちですが、その壁を越えるために共通に学ぶ場を作ると、そこから一つの出会いがあり、きっかけがあるということもあわせて考えていくといいのかなと思います。「学ぶ場」・「体験の場」・「交流の場」というのは同感です。あと、他市町での事例ですが、自治会がやっていることに、行政職員が学びに行くという企画が増えてきており、それを職員研修の一環として実施しているところがあります。自治会の実態を知るというものですが、現場に出て行くことによって地域がどういう現状にあるのかどういう人たちがいて、どういうことに悩み、何を求めているのかを知る場になり、職員と地域住民との交流も芽生えてきます。職員としても研修はやらなくてはいけないことですから、そういうところをかみ合わせていくということも一つの協働だと思います。富里市の場合、自治会が、地域の一つの大きな核という認識だとすれば、今後自治会をめぐる環境をどうしていかなくてはいけないのかは、検討していく柱の一つになるかと思いました。</p> <p>2つめの班のリタイアされた方の地域デビューも注目されていることです。リタイアされた方々を対象に地域デビュー講座などを設定して、今までとは違うんだというようなレクチャーをしたり、富里市にもいろいろな地域団体があると思います</p>
---------------	---

が、そういう地域団体に集まっていたら機会を作り、団体活動をされている人からすれば、自分たちのやっていることを知ってもらえる機会になるし、地域に帰ってきた方々は、どういう動きがあるのか知りたいというニーズが合致します。そういう場を作っていくのも、つながりを作りだしていく大きなきっかけになると思います。その入り口を多種多様にするのも同感ですが、どうしても地域に帰ってくるとこれまで会社人間だった人は、地域がすごく閉鎖的に映ると思います。入っていきたくないし、おもしろそうだけど、入っていけないと思う方も少なくないと思います。そういう方々は、きっかけや関心を持ちうるような入り口があればあるほど、自分の関心に応じて入っていくし、逆に自分の関心で入ってきた人たちは、熱心に活動されると思います。そうするともっと輪を広げたいと思っている人とそういうところから連携が出てきて、つながりを作るきっかけになると思います。その辺は、行政として出会いの場を提供していくのかという話になるかもしれないし、市民自身が作っていくというのもあると思います。そういう動きを自治会や地域と連動させるというのもまた一つのアイデアだと思います。

最後の班の「まちづくり」。富里市は、市の中でも下から数えたほうが早いということで、いろいろな評価があると思いますが、いずれにしても現実には知らなくてはいけない。これはいろいろな現実があると思います。要するに今、どうして協働と言われているのかと言えば、明らかに少子高齢社会に突入したからです。これはこれまでどおりにいかななくなってしまって、働く人たちの人口が、どんどん減り、税収が減るということです。これまでの税収を前提としてやってきたサービスがこれからできなくなってしまふ。これは危機的状況です。この危機意識がないと、協働のまちづくりが進んでいかないと言う人もいます。そういう危機的状況にあるという情報が、まだ市民には伝わっていないところがあると思います。こういう動きの中で出てきているいくつかの事例ですが、ある町では、情報を共有

していかななくてはいけないということを各方面の方々が考えていて、町の財政状況についてどれくらい税収があって、どの課でどういう事業を行って、いくらお金をかけて進めているのかを、各課1ページ程度にまとめて非常にわかりやすい冊子を作り、配布しました。一般的な行政では、広報にバランスシートを載せているとおっしゃっていますが、素人が見てもわからない。そういう情報を噛み砕いて伝えていくことも必要です。初めは、職員がそんなものを作っても誰も見ないと反対したそうですが、実際作って渡したら、みんな関心を持って住民のみなさんが喜んでいて。そうすることによって町の一端がみえ、そこから何をしなくはいけないのかという議論が沸き起こってきます。ですから情報公開の場づくりも情報を噛み砕いて共有でき、伝えていけるような形を模索していく必要があると思います。それから、「自発的に」とありますが、どう考えればいいのか難しい問題があると思います。自立しなくはいけないといってもどうやって自立すればいいのかという話は必ず出てきます。自立するということと自立しうる環境を整えなくはいけないという両方が必要であって、自立しなさいとだけ言っても進みません。だから、自立しうるためには、きっかけをどうやって与えていけるかどうか。これはイベント、自治会活動、市民団体活動、学校教育を通じてかもしれないですし、どこできっかけをつかめるかは、多種多様です。そういうものを作り出していけるような形をどのように考えていけるかどうか課題になっていると思います。最後に市民の中心になった組織を作ろうということで、まだ具体的なイメージはないとのことでしたが、自治会や社会福祉協議会のような組織が一つの媒介的な組織になるのか、あるいはもっと別のものがあったほうがいいのかというのをみなさんがどのようにイメージをされるかです。既存の自治会や社協で十分だとか、そこをちょっと組み替えればいいものが切り開かれていくとお考えになるのか、それとももっと第三者的なもので、それぞれ既存の市民組織をつなぐほうがうまくいくのか。どのように考えればいい

<p>久野委員長</p>	<p>のかは、難しいと思いますが、そういうことも今後、検討してもいいのかなと思います。</p> <p>次回は、本日出された方策をまとめ、条例に向けてさらに具体的に作りこんでいくという作業に入っていけたらいいなと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>(2) 富里市協働のまちづくり条例策定に向けて</p>
<p>事務局</p>	<p>資料3により説明</p> <p>(3) 地域フォーラムについて</p>
<p>事務局</p>	<p>資料4により説明</p>
<p>久野委員長</p>	<p>地域フォーラムの概要を関谷先生からお願いします。</p>
<p>アドバイザー</p>	<p>地域フォーラムは、協働のまちづくりを進めていく上で、かなり活発に取り入れられています。この委員会が地域に出て行き、地域住民と対話をする場です。一つは、この委員会の中で議論してきていることを地域住民の方になるべく噛み砕いた形で伝えていくこと。今、どういう状況におかれていて、どういうことが課題になっていてどういうことが必要とされているのかをわかりやすく発信する。それらを含めながら地域住民の方々に日ごろやっている経験を聞かせてくださいという形でもいいでしょうし、どういうところで行き詰っているのか、どういう問題を抱えていますかというのを伺う形でもいいと思います。地域住民の方々からどういうものが出てくるかは未知数だと思います。ラフな形で地域住民相互が話し合える場が必要ではないかということで今回、地域フォーラムが企画されたということです。3回設定されているポイントは、どうしても地域フォーラムというところどこか1ヶ所で開催して終わり</p>

久野委員長	<p>というのが多いのですが、なるべく地域に入っていこうという趣旨です。自分が住んでいる近くに参加できる機会を作り、それぞれの地域固有の問題もあると思いますし、毎回違った意見が出てくるとは思いますが、より地域に接近したところでこういう場を持つということ、3つの場所が選ばれているようです。ここで出されたようなことをもう一度この委員会に戻し、今後まとめていく中で、どういう視点をもっと入れていけばいいのかをこの委員会でさらに議論しながら最終的なまとめの作業に入っていくようになります。</p> <p>以上で、議事を終了させていただきます。</p>
-------	--